

<株式会社エフエム東京 第367回放送番組審議会議事録>

1. 開催年月日:平成22年4月6日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社10階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数7名(社外7名 社内0名)

◇出席委員(6名)

青池 慎一 委員長	横森 美奈子 副委員長
香山 リカ 委員	内館 牧子 委員
秋元 康 委員	西田 善太 委員

◇欠席委員(1名)

渡辺 貞夫 委員

4. 議題:

【番組名】「DOCOMO シーズーメール～SHE SAW MAIL～」(ダイジェスト版)

【放送日時】2010年4月4日(日)22:00～22:55放送分

【番組概要】

想像上の男と女の心の動きを、携帯メールという現代のツールを通じて描き出す、オトナのための朗読プログラムです。

この番組では、不確かな社会に揺れる心の機微や、その日みつけた小さな発見、人との出会いで芽生えた感情…など、そんな主人公たちの日常の「気づき」を現代人のコミュニケーション・ツールの中心である携帯電話のメールで綴っていきます。女性のメールを執筆するのは、「冷えた月」「余命」などで知られる作家・谷村志穂、男性のメールを執筆するのは、「パイロットフィッシュ」「アジアンタムブルー」などで知られる作家・大崎善生。2人の人気作家による往復書簡を、女優・長谷川京子と、俳優で劇作家・演出家の長塚圭史が演じます。

< 試聴時間:約23分 >

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- 真摯な態度で作っていることが伝わってくる意欲作だと思う。好感が持てた。ただし、現実的なことを考えると辛い。あそこまで長いやりとりをメールという設定で表現するのはきつい。また、ナレーションの女性の声と、主人公の長谷川京子の声が似ているのが気になった。ナレーターは変えたほうがいいと思った。選曲は良かった。曲を主軸にして、曲を聞かせる構成にして、あとは短いやり取りで、リスナーの想像にまかせるようなメールドラマにしてもいいと思う。もっと短いダイアログで、それをしゃれた音楽でどンドンつなぐ方が主旨に合うのではないかと思った。メールはその短い文章で相手にどのように想いを伝えるか、という面白さがあるが、これだけ長いとメールの優位性が無くなると思った。

- 素晴らしい2人の作家が参加している作品。この取り組み自体は面白い。ただし、キャラクターに破綻があり、そこが最後まで気になってしまった。例えば、男は引き算のキャラだと自分では言っているが、会話からは伝わってくるのは足し算のキャラ。また、ダイジェストで途中が抜け落ちてしまっているためか、この関係で男が女に向かって「キミ」と呼ぶのに違和感を覚えたり、男女の設定とキャラのハンパさが気になった。せっかくの試みなので、抜本的に考え直したほうがいいと思った。

- スポンサーの DOCOMO のメリットを意識し、この番組が携帯メールの利用促進を促すものだと考えると面白いと思う。ただ実際にはこんなに長いメールを打つことは無いし、メールはコトバを吟味するもの。会ったばかりでこんなに長いメールを打ち合い、立ち入ったことまで聞いてしまうような設定には現実味は無い。架空の人物のやり取りだけに終始してしまうと、ライブ感が無く、2010 年のやりとりには思えなくなってくる。たとえば、最近オープンしたレストランやいま観たばかりの映画の感想などを織り込み、少なくとも何かの情報を受けとるものにしてライブ感を出さないと面白く無いと思う。最近はツイッターが流行っている。たとえば、「ゴハンを食べに行こう」といってツイッターでつぶやいて返事が無くてもそれほど気にならない。ところが、これがメールであった場合傷つく。たとえばこのような違いを意識してみてメールの強みを出すことができたなら、スポンサーもリスナーもより楽しむことができるのではないだろうか。

- 50歳前後の人たちが雑誌 Hanako で楽しんできた世界観。アラ 50 世代にはマッチしたような雰囲気だと思う。この番組では主人公は33歳だが、このようなメールのやり取りをする33歳はいないと思う。主人公が33歳で、同世代の人たちに向け

るのであれば、作家を30代の人にしたほうがリアリティがあるのではないだろうか。50代の人たちがいまどきの表現をするのには疑問がある。そういう人たちがノスタルジックに昔を回顧するような内容にするのか、同年代が今を表現するのか、どちらかだと思う。

- 誰に聞かせたい番組なのか、対象が分からなかった。メールではなく、往復書簡になっている。往復書簡だとアラ50ではなく、アラ還以上になってくる。このメールのやりとり自体も、2人の関係が伝わってこない。アイデアは面白い。ただ、リアリティが無い。メールだということを言われなければ、手紙だと思うかもしれない。そのリアリティも欲しかった。
- 個人的にはとても気に入った。私の年代には共感性がある内容なのだと思う。往復書簡のような形式で面白かった。文字のコミュニケーションを声で表現することで、文字だけでは伝わってこない違う情緒が生まれ、バーバルコミュニケーションの良さを実感した。ただ、年輩の人は良いと思うかもしれないが、メール文化が浸透している若者が聞くとまた違うのかもしれない。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放 送:番組「JOGLIS SUNDAY」
4月25日(日) 5:00～7:30 放送
- ② 書 面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会 5月11日(火)に開催することを決めた。

以 上